

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp



飛行日誌



ぼくは虫や小動物が好きな少年だった。幼少期は田舎(離島)で暮らしていたこともあって、毎日野山でクワガタやコガネムシ、トンボにチョウチョを追いかけて、水辺(川や田んぼ)ではゲンゴロウやタガメを取って、夜になると先輩たちとカーバイトを持って食用ガエルの捕獲に夢中になった。

コザに引っ越してきてからは多くの虫好きはさらにエスカレートして、アリに巣を作らせたり、ヤンバルからクモやイモリを捕まえてきて、ジヨロウグモはやがて天井に大きな巣を這わせ、蚊や羽虫などを捕獲するようになった。それからカマキリの卵を持ち帰り、数日後には卵から数十匹ものカマキリが生まれ、部屋を子カマキリの軍団でいっぱいにしたこともある。それだけでなく、ハツカネズミのつがいと瞬間に繁殖して、とうとう手がつけられなくなって庭に放った。今考えるとずいぶん無責任なことをしたと思う。

中学生になると伝書バトを飼った。ハトを大空に投げ放つとなんだか自分が鳥になって空を飛ばたく気分になった。大きいオスバトは他所のハトを連れて来て、小屋はハトでいっぱいになった。ある日、小屋の奥の巣箱の中でハトの雛がふ化したらしく、ぼくは手を伸ばして雛を抱えて絶叫した。まだ毛が生えてなくて、全身薄い皮で包まれた体は血管が浮き出て、目は腫んだように腫れ、妙に生暖かくて小さな魔物を掌に乗せているような恐怖に襲われた。ぼくはそれこそ全身鳥肌立ち、さらに悲鳴をあげて雛を巣に放り込んだ。

その日からハトの世話に任せ、雛たちが飛べる日待って、小屋を壊して彼らの帰る場所を失くした。その日以来、ぼくは小動物を飼うのを一切やめた。今でも雛の姿が脳裏に浮かぶと、それこそ気恐ろしさが甦って、全身に震えが走る。大人になっても鳥類は見るのも嫌で触ることなどとてもできない。

どうしてそうなったのかわからないけれど、人はどこかに一瞬にして内面を変えてしまう病魔を宿しているのではないかと思わずにはいられない。他人からすると取るに足りない言動でも、その人にとっては痛みや恐怖を伴うことだってある。人の心には自分でよくわからない闇が潜んでいる。そんなことを考えると人は一筋縄ではいかない摩訶不思議な生き物だと思ってしまう。

(富永 健)

新一年生！入学おめでとうございます！



☆新入生が入りました！

今年度の1年生はなんと14名！たくさんの仲間が加わりました。初日は緊張がありましたが、優しいお兄ちゃんお姉ちゃんに迎えられ今ではすっかり元気に勉強、遊びを頑張っています。毎年違ったカラーを出してくれる子ども達、今年度も楽しみです！

☆園外活動の様子

天気の良い日は公園へ遊びに行っています。屋内ではできない遊びも公園では目いっぱい遊べます。1年生も公園に行くのを楽しみにしていますので、できる限り屋外での遊びを行っていきたいと思います。

※屋外では熱中症対策のためマスクは外しています。



みどり学童クラブ うーまー通信



3月25日(木)、食育事業で収穫したジャガイモを使い、毎年恒例のカレーパーティとお別れ会を行いました。この日は年度途中で退会した子ども達も招待し、久しぶりの顔ぶれにみんな楽しんでいる様子でした。天気も良く、ブルーシートを敷いて裏庭で食べました。自分達で作ったカレーの味は格別でした！

お別れ会では、今年度で退会する子ども達にお菓子レイと卒業記念アルバムのプレゼント、アルバムの中には1年生からの思い出がつまっています。「懐かしい！」「小さくて可愛い！」と仲良くアルバムを眺めていました。退会してもみどり学童の大切な仲間達です。

これからもみどり学童での思い出を胸に頑張ってくださいね！
(集合写真等では撮影の為にマスクを外して撮影しております。)

手作りおやつ会(3月) 緑樹苑デイサービスセンター



緑樹苑デイサービスセンターでは3月10日(水)に、毎月恒例の手作りおやつ会を行った。

今回のメニューは、利用者の皆さんにあまり馴染みのない『餃子の皮を使ったピザ』。普段あまり手の込んだ料理をしないであろう男性職員が挑戦した。

最初の一枚目は火の加減や、油の量などをうまく調整出来ず大失敗。しかし、二枚目からは、悪戦苦闘しながらも、なんとか美味しそうなピザが出来上がった。

利用者の皆さんは、見慣れない食べ物に、初めはおそろおそろ口に運んでいたが、一口食べると「おいしい!」と次々に食べていた。

今後もデイサービス職員の挑戦は続く…。

(仲宗根亮)



苑内散策、満開の花に笑顔 緑樹苑デイサービスセンター



4月16日(金)、緑樹苑デイサービスセンターでは、レクの一環として苑内散策を行った。

数名の利用者に声を掛け出発。はじめは眠いと言ってあまり乗り気ではなかった利用者も、綺麗に咲いている花を見て「きれいな花だねえ」「眠気が吹っ飛ばさー!」「目の保養になるねえ」、別の方からは「この花食べられるかねー?」と冗談まじりで(いや本気で食べようとしていたかも!)話していた。

色とりどりの花たちに手を伸ばしたり、ジッと見つめたり、その表情は花にも負けず、素敵な笑顔が見られた癒しの時間となった。(島袋愛美)

3月4日は「三線の日」 緑樹苑デイサービスセンター



3月4日は『三線の日』。緑樹苑デイサービスセンターでは、三線の日になんで、三線がどのような素材でできているかや、三線の各部位のうちなーぐちでの呼び名など、三線について紹介した。

利用者の皆さんも興味津々な様子で耳を傾けていた。

その後、職員による三線の演奏会が行われると、三線と太鼓の軽快な音色に、少しウトウトしていた利用者も飛び起きて手拍子。立ち上がって踊りだす方もおり、会場は大いに盛り上がった。(源河康弘)



AED(自動体外式除細動器)講習会 緑樹苑デイサービスセンター



緑樹苑デイサービスセンターでは、このほど、AED(自動体外式除細動器)が新たに設置された。

AEDには使用期限があり、一定期間ごとに取り替える必要がある。

デイサービスを利用される方の中には、医療的ケアを要する方も多く、施設内には、万が一に備えてAEDが常備されている。

新しいAEDの設置に伴い、取り扱いの講習を業者協力のもと、3月16日(火)に行った。

講習では、万が一が発生した際の手順の確認から、パッドの貼り方、位置の確認、機器の操作方法、電気ショックを行う際の注意点など、実際に機器を操作しながら行われた。

AEDを初めて操作する職員もおり、活発な意見が飛び交った。(渡久地一)



令和三年度 入社式・辞令交付式

4月1日(木)、令和3年度の入社式・辞令交付式が執り行われ、新規採用職員や人事異動対象職員が参加した。式では、浜川通理事長が訓示を述べ、「コロナ禍にあつて大変な時期ではあるが、高齢者を守るという使命をもって職務に励んでもらいたい」と職員を激励した。

その後、一人ひとりに辞令が交付され、受け取った職員は、それぞれの職務における決意を胸に、令和3年度をスタートした。



新規採用職員の皆さん



令和二年度 定年退職者辞令交付式

3月31日(水)、令和2年度末をもって定年退職を迎える職員の辞令交付式が行われた。今年度定年を迎える職員は6名。浜川通理事長より、職員一人ひとりに、労いの言葉とともに辞令が交付され、記念品が贈られた。定年退職となった6名のうち、4名は、継続雇用制度を活用し、契約職員として4月以降も業務に従事する。



ケアハウスはいびすかすカラオケ大会

4月のある日、ケアハウスはいびすかすでカラオケ大会が開催された。通常、各フロアごとに行うカラオケクラブを全館合同で行うというこの機会に、参加者の中にはたくさんの候補曲からお披露目する歌を選びきれず悩む姿も見られた。おやつの時間と重なったこともあり、参加者はマイクを片手にドーナツを頬張りながらで久しぶりのカラオケ大会を楽しんだ。披露された歌は『時の流れに身を任せ』や『川の流れるように』などの往年の歌謡曲。『見上げてごらん夜の星を』は全員で合掌し午後の楽しい時間を過ごした。(※感染症防止対策のうえ実施しています)



4月誕生日会 ケアハウスていんさぐめ花

4月15日(木)、ケアハウスていんさぐめ花では、各フロアごとに誕生日会を行った。誕生者の方々へプレゼント贈呈と記念撮影が行われると、誕生者の皆三からは「ありがとうございます」と感謝の言葉があった。和やかな雰囲気の中、職員による余興も行われ、『安里屋ユンタ』『肝がなさ節』が披露され、参加した利用者の皆さんも加わり、大いに盛り上がった。(小渡修)



5月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(土)			手工芸		園外活動
2(日)			カラオケ		
3(月)			民舞		学童休園日
4(火)			歌会		学童休園日
5(水)	ミニシアター	ミニシアター	映写会		学童休園日
6(木)		手作りおやつ会	ボウリング		
7(金)			母の日祝い会		
8(土)			手工芸		園外活動
9(日)			カラオケ		
10(月)		書道クラブ	民舞		
11(火)		三板クラブ	ミニドライブ		
12(水)	ミニシアター	防災訓練	映写会		
13(木)		手作りおやつ会	ボウリング		
14(金)			スカッシュボール		
15(土)			手工芸		園外活動
16(日)			カラオケ		
17(月)			民舞		
18(火)			防災訓練・歌会		
19(水)	ミニシアター	ミニシアター	映写会		
20(木)		手作りおやつ会	誕生会・ボウリング		
21(金)					
22(土)			手工芸		園外活動
23(日)			カラオケ		
24(月)		書道クラブ	民舞		
25(火)		三板クラブ	スカイガーデン		
26(水)	ミニシアター	防災訓練	映写会		
27(木)			散髪・ボウリング		
28(金)		誕生会			
29(土)			手工芸		園外活動
30(日)			カラオケ		
31(月)			民舞		

緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧ください。



または
インターネット検索で

緑樹会 竹とんぼ

検索

編集後記

世界全体での新型コロナウイルスの感染者数は1億4千万人を超え、死者は3百万人を超えています。国内では東京や大阪などの大都市と並び、県内でも新型コロナウイルスの新規陽性者が急増。4月に入ってから一日100人以上の新規陽性者が毎日続いている状況です。

ワクチンの供給が待たれる中、県内でもようやくワクチンの接種がはじまり、緑樹苑でも5月中旬に1回目の接種を予定しています。

5月は子どもの日を含むゴールデンウィークがあります。昨年同時期は『緊急事態宣言』の渦中にありました。残念ながら今年も『まん延防止等重点措置』期間となるため、不要不急の外出等は自粛を求められています。

今月号の記事では、みどり学童クラブの子ども達が伸び伸びと遊んでいる様子を紹介しています。その裏では、大人たちによる数多くの感染防止策や安全に配慮した取り組みがあつてこそ成り立っています。(砂川智規)

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

(令和三年三月一日～三月三十一日)

〈物品の部〉

新里 治隆 様(ご家族)

